

---

---

## 田原本町の交通・まちづくりに関するアンケート調査結果

---

---

### 1. 調査概要

公共交通活性化における対策立案のために、町民等の詳細な交通行動（日常行動の目的地）や移動の際の問題点・ニーズを把握することを目的とする。

○実施日：2009年10月19～30日（約2週間）

○配布数：5,629通（無作為抽出による）

○回収数：1,893通（回収率 33.6%）

### 2. 調査結果

#### （1）回答者属性

##### ①性別

- 「女性」の比率が55.9%と多い。

	件数（件）	割合（%）
男性	819	43.3
女性	1,058	55.9
不明・無回答	16	0.8
合計	1,893	100.0

##### ②年齢

- 年齢別にみると、10～30代（若年）、40～50代（中年）、60代（≡前期高齢）、70代以上（≡後期高齢）が、それぞれ約1/4を占めている。

	件数（件）	割合（%）
10代	99	5.2
20代	136	7.2
30代	228	12.0
40代	268	14.2
50代	323	17.1
60代	465	24.6
70代	250	13.2
80歳以上	111	5.9
不明・無回答	13	0.7
合計	1,893	100.0

### ③職業

- 職業は、「会社員・公務員」が最も多く、次いで「無職」、「専業主婦」の順である。

	件数（件）	割合（％）
会社員・公務員	520	27.5
自営業・自由業	137	7.2
農林業（専業）	23	1.2
専業主婦	382	20.2
中学生・高校生	76	4.0
大学生・専門学校生	41	2.2
アルバイト・パート	220	11.6
無職	413	21.8
その他	53	2.8
不明・無回答	28	1.5
合計	1,893	100.0

### ④お住まい

- いずれの地域において 100 件以上を確保している。

	件数（件）	割合（％）
旧町	122	6.4
川東（南）	266	14.1
川東（北）	194	10.2
多（西）	272	14.4
多（東）	149	7.9
都	392	20.7
平野	382	20.2
不明・無回答	116	6.1
合計	1,893	100.0

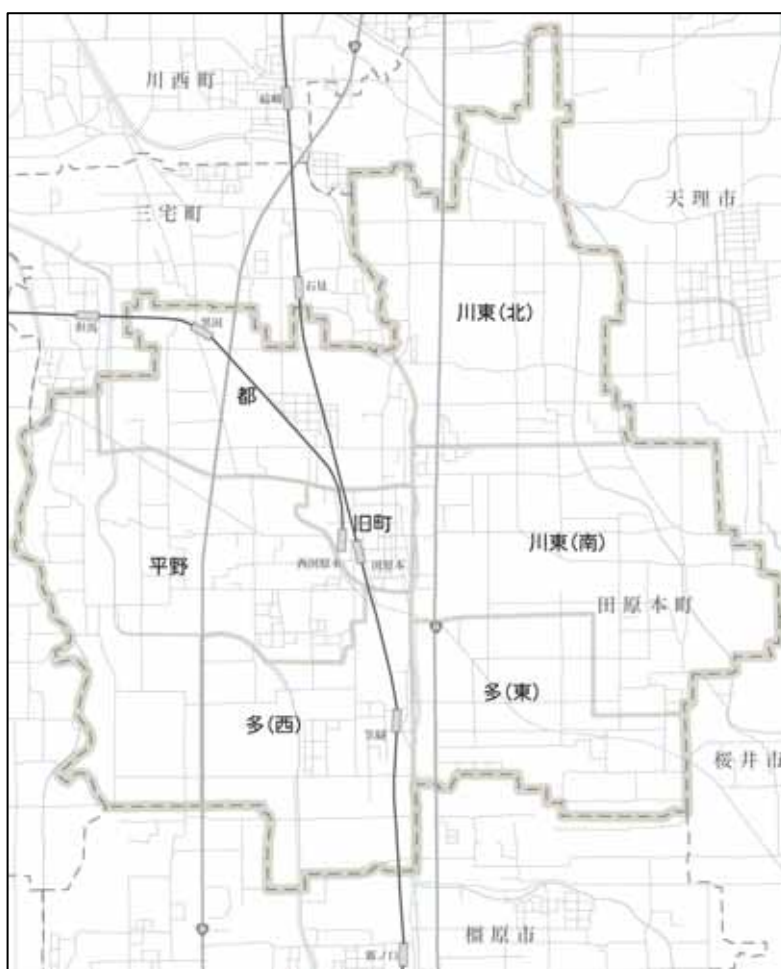


図 田原本町の地区区分

## ■人口に占めるアンケート回答者の割合

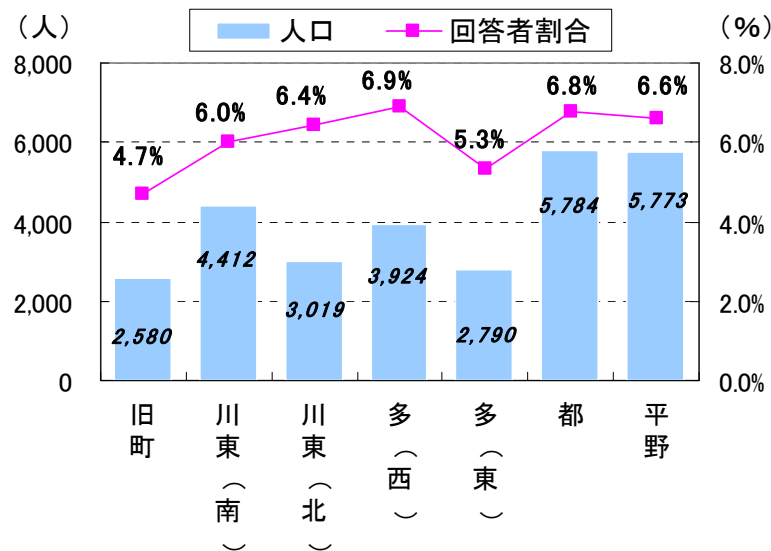
- 地区別では、「旧町」および「多（東）」で、それぞれ約 4.7%、約 5.3%となっており、他地区と比べて若干低い。
- 年齢別では、各地区ともに「60代」、「70歳以上」が高く、「30歳未満」の若い世代では低くなっている。

表 地区別年代別の人口に占めるアンケート回答者割合

町全体では 6.3%（地区不明を含むと 6.7%）

	30歳未満	30代	40代	50代	60代	70歳以上	合計
旧町	2.0%	2.7%	5.1%	3.5%	7.8%	6.5%	4.7%
川東（南）	4.2%	5.0%	6.3%	5.1%	9.1%	7.5%	6.0%
川東（北）	3.8%	5.4%	6.6%	6.0%	11.0%	6.8%	6.4%
多（西）	4.6%	5.1%	6.4%	5.7%	10.7%	8.5%	6.9%
多（東）	2.9%	3.6%	5.8%	6.5%	8.0%	6.3%	5.3%
都	4.8%	4.4%	7.9%	6.0%	10.8%	8.2%	6.8%
平野	3.8%	5.9%	6.5%	6.5%	10.1%	7.6%	6.6%
合計	3.9%	4.7%	6.6%	5.8%	9.9%	7.4%	6.3%

※割合＝アンケート回収枚数／人口



注) 各地区の人口は 15 歳以上

図 地区別人口とアンケート回答者割合

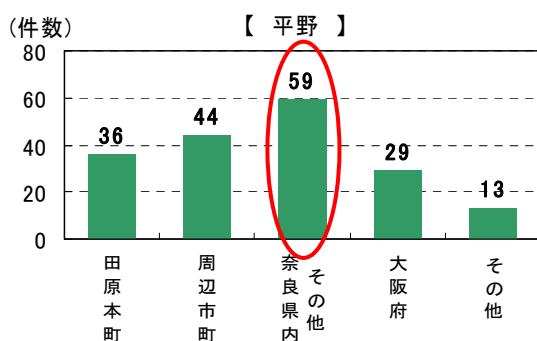
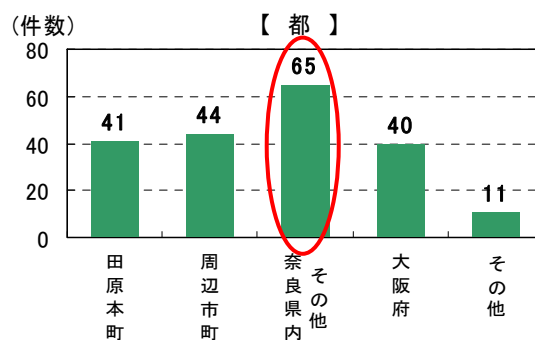
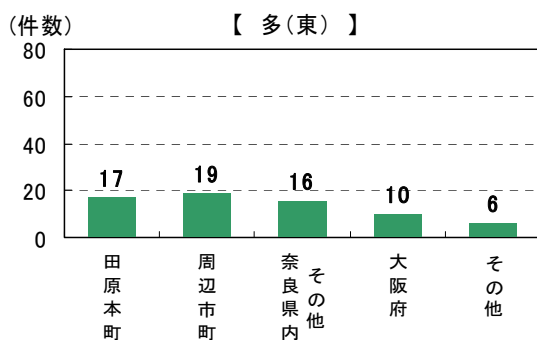
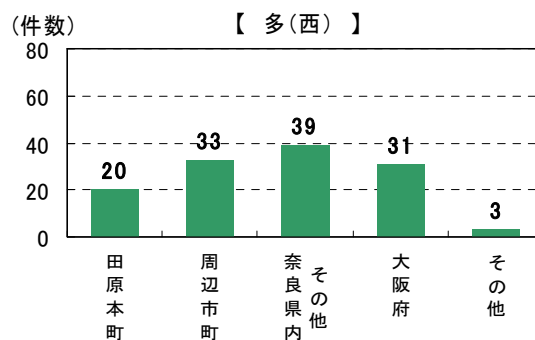
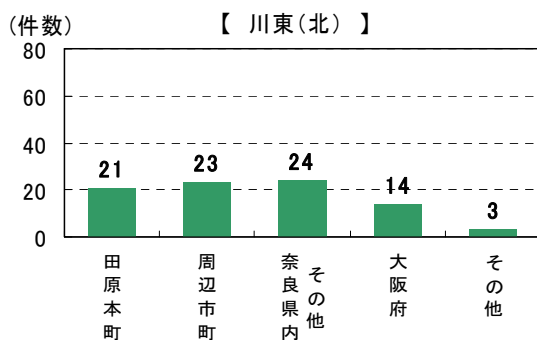
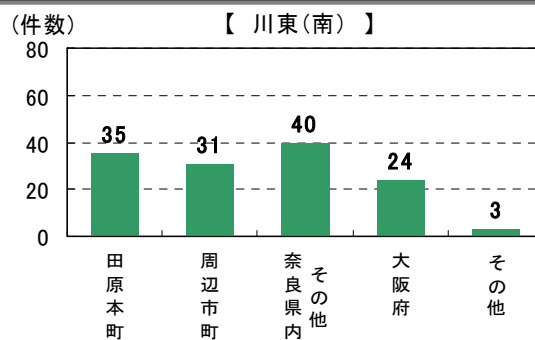
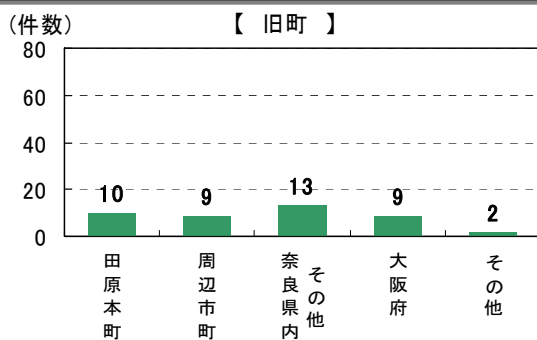
## (2) 交通に関する調査結果

### 【質問 A:「通勤・通学」について】

問1 (ア)通勤・通学先はどこですか？(イ)また、そこまでの交通手段は何ですか？交通手段を利用する順番にお答えください。(ウ)鉄道を利用する方は、乗車する駅と降車する駅もお答えください。

#### (ア)通勤・通学先

- 田原本町内への通勤・通学は2割程度で、いずれの地域も「奈良県内その他」(奈良市等)が多い。
- とりわけ、都地区、平野地区では「奈良県内その他」等の域外への通勤・通学が多い。



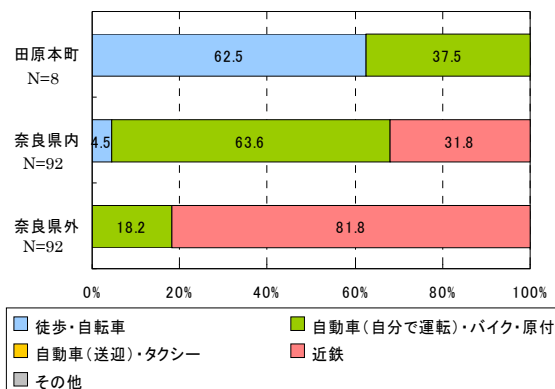
※周辺市町(天理市、橿原市、桜井市、大和高田市、川西町、三宅町)

図 地区別の通勤地

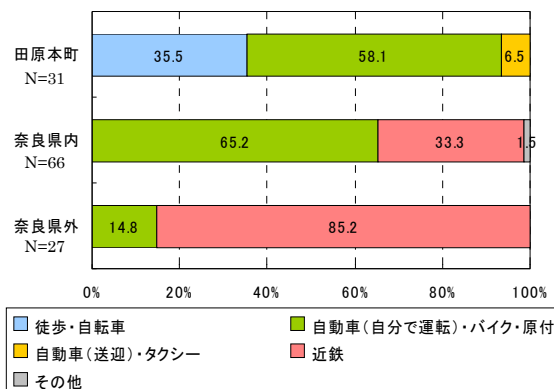
(イ)通勤・通学の交通手段

- 田原本町全体として、田原本町内への通勤・通学は「徒歩・自転車」、「自動車（自分で運転）・バイク・原付」の割合が高い。
- 奈良県内の移動では40～70%が「自動車」利用であり、奈良県外へは「近鉄」の割合が高い。

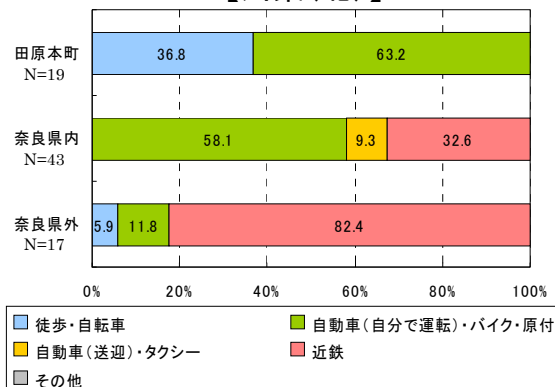
【旧町】



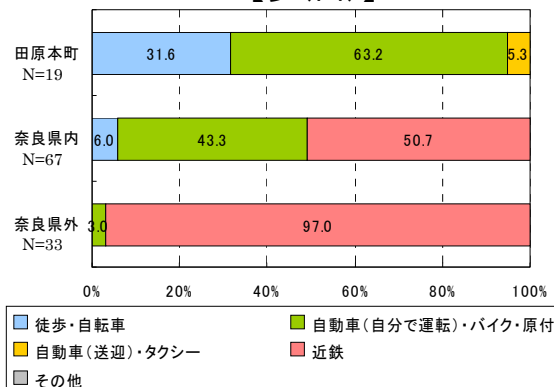
【川東(南)】



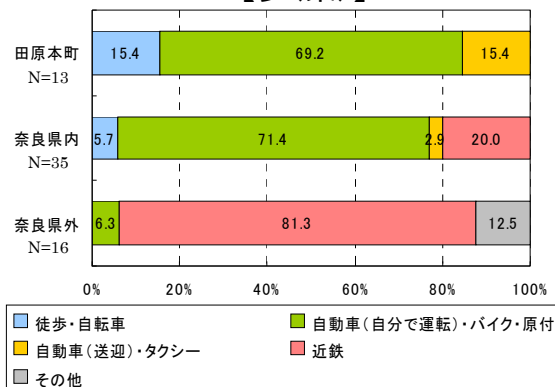
【川東(北)】



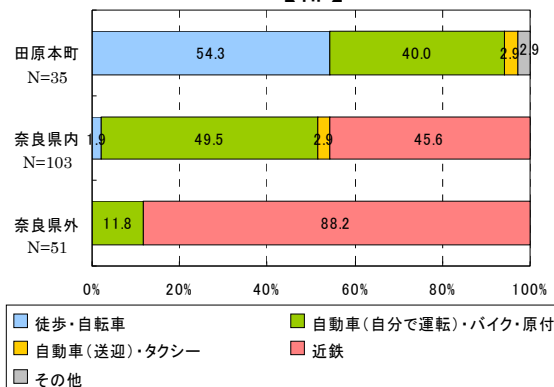
【多(西)】



【多(東)】



【都】



【平野】

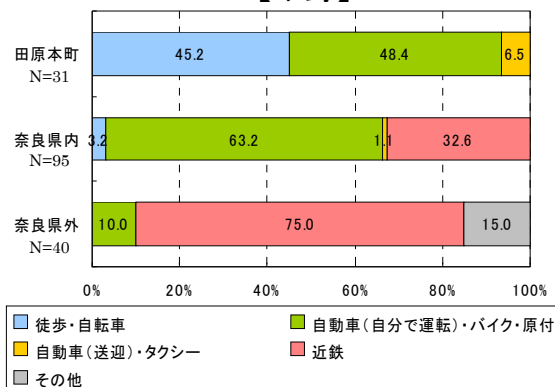


図 地区別通勤地別代表交通手段

(ウ)通勤・通学における利用駅, 端末交通手段

- 多（東）地区や多（西）地区では最寄りの「笠縫駅」の利用が多く、それ以外は「田原本・西田原本」の利用が大半を占める。
- 川東（北）地区や都地区では、「結崎」「石見」「黒田」の利用も見られる。
- 端末交通手段はいずれの駅でも徒歩の利用が多いが、田原本駅では自転車利用の割合も高い。

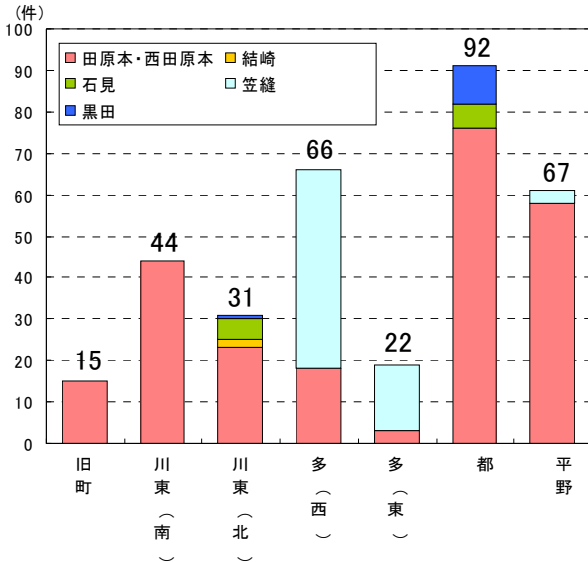


図 地区別利用駅

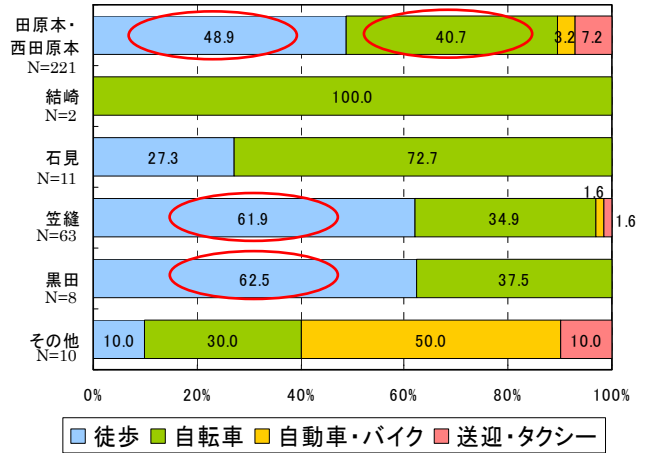


図 駅別端末交通手段

問2 通勤・通学先までの移動について、何か問題点がございましたらお書き下さい。

- 道路幅員が狭いことから危険性や道路混雑を指摘する意見が目立つ。
- 駅周辺においても、送迎車等による道路混雑や歩行の危険性を指摘する意見も多い。
- バスがないので駅へのアクセスが不便との声もある。

<主な意見>

- ・ 道が狭いし、渋滞している
- ・ 一部道路を除き道が狭く危険度が高い。現在進行中であるが駅周辺の整備を進める必要大（迷路である）。
- ・ 駅まで遠い、バスがないので不便
- ・ 国道24号線、千代北交差点の渋滞が激しい。国道24号線、奈良行車線、唐古付近で渋滞。
- ・ 駅まで歩いているとき、駅周辺の道が狭いため送迎の車で危険だ。
- ・ 田原本駅(東側)の送迎の車が多く歩行しにくい。また、駅から田原本役場に向かう道路幅員が狭いため、自転車での通行が非常に危険である。
- ・ 家族を田原本駅に送ってから勤務先に向かうが、駅前には道が狭く通行量も多いためとても危険。特にタクシーがじゃま！一度あてられた。
- ・ 24号線は横田まで渋滞。町内では唐古から八田までは国道に出るのに時間がかかる。駅まで遠いので車通勤している。
- ・ 雨天時、朝の近鉄田原本駅前道路が送迎の自家用車で渋滞している。

等

【質問 B:最近1ヶ月の「お出かけ(買い物, 通院など)」について】

問1 (ア)最近1ヶ月について、通勤・通学以外でよく行く外出先はどこですか？田原本町以外の場合は、市町村名もお答えください。(イ)また、その目的もお答えください。(最大3箇所まで)

- 通勤通学以外の外出行動をみると、「買い物」が最も多く61%を占める。次いで「通院」の14%の順となっている。
- 目的地を見ると、買い物は田原本町内の方が多く、通院は町の内外が同程度である。

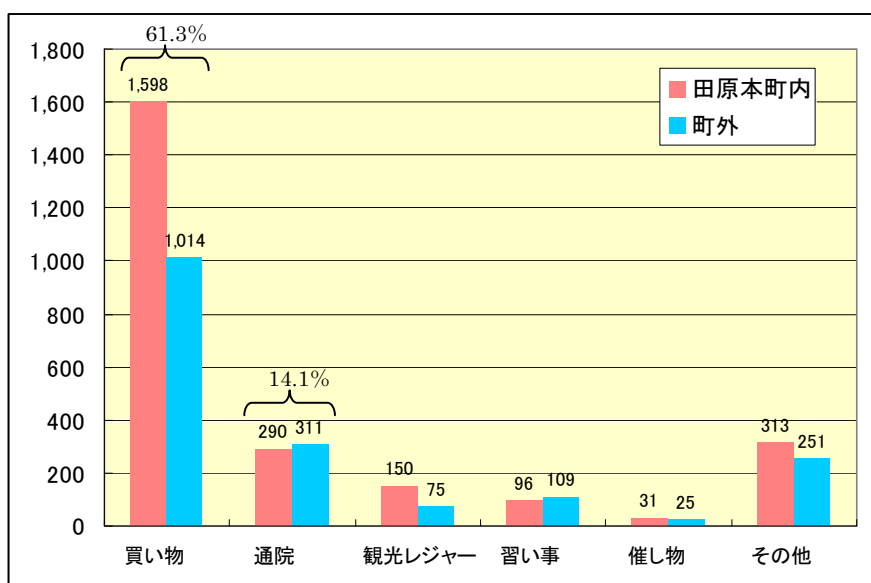


図 目的別外出先

問2 (ア) 問1 でお答えの外出先①～③へはどれくらいの頻度で訪れますか。(イ)それは平日・土休日のどちらが多いですか。(ウ)また、よく訪れる時間帯もお答えください。

- 目的別の外出頻度をみると、買い物目的による行動は週1回以上と回答した人の割合が約60%に対して、通院目的では25%と行動頻度が低い。
- 目的別の外出曜日をみると、通院は大半が「主に平日」の行動である。

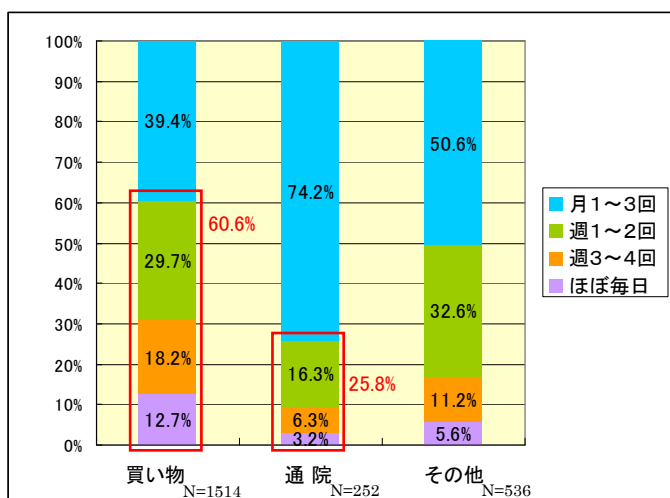


図 目的別の外出頻度

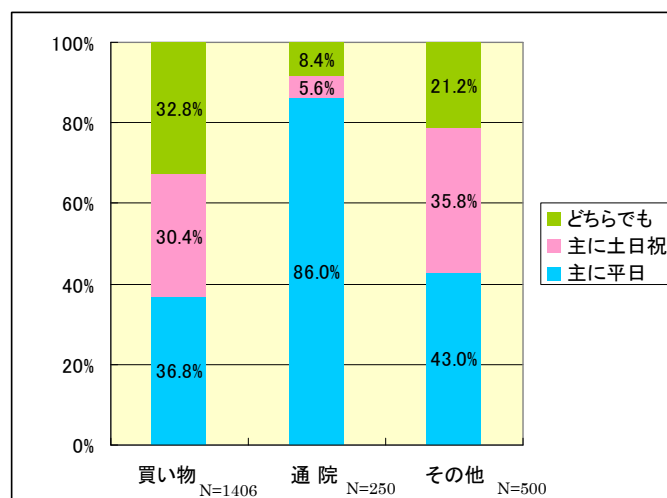


図 目的別の外出曜日

- 買い物行動は 10 時～18 時の昼間時間帯に分散する傾向にある。
- 通院行動は他の目的に比べて行動時刻が早く、全体の 7 割が午前中に外出している。

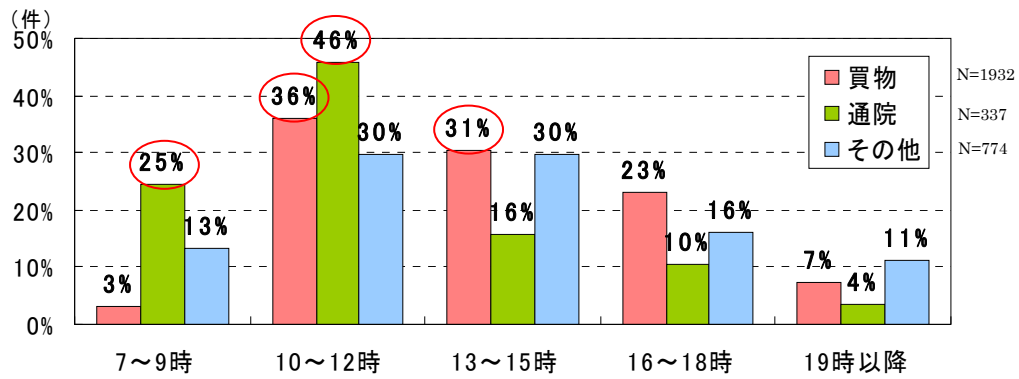


図 目的別の外出時間帯

- 買い物目的の外出頻度を年代別にみると、年齢が上がるにつれ、行動頻度が高くなる傾向にある。

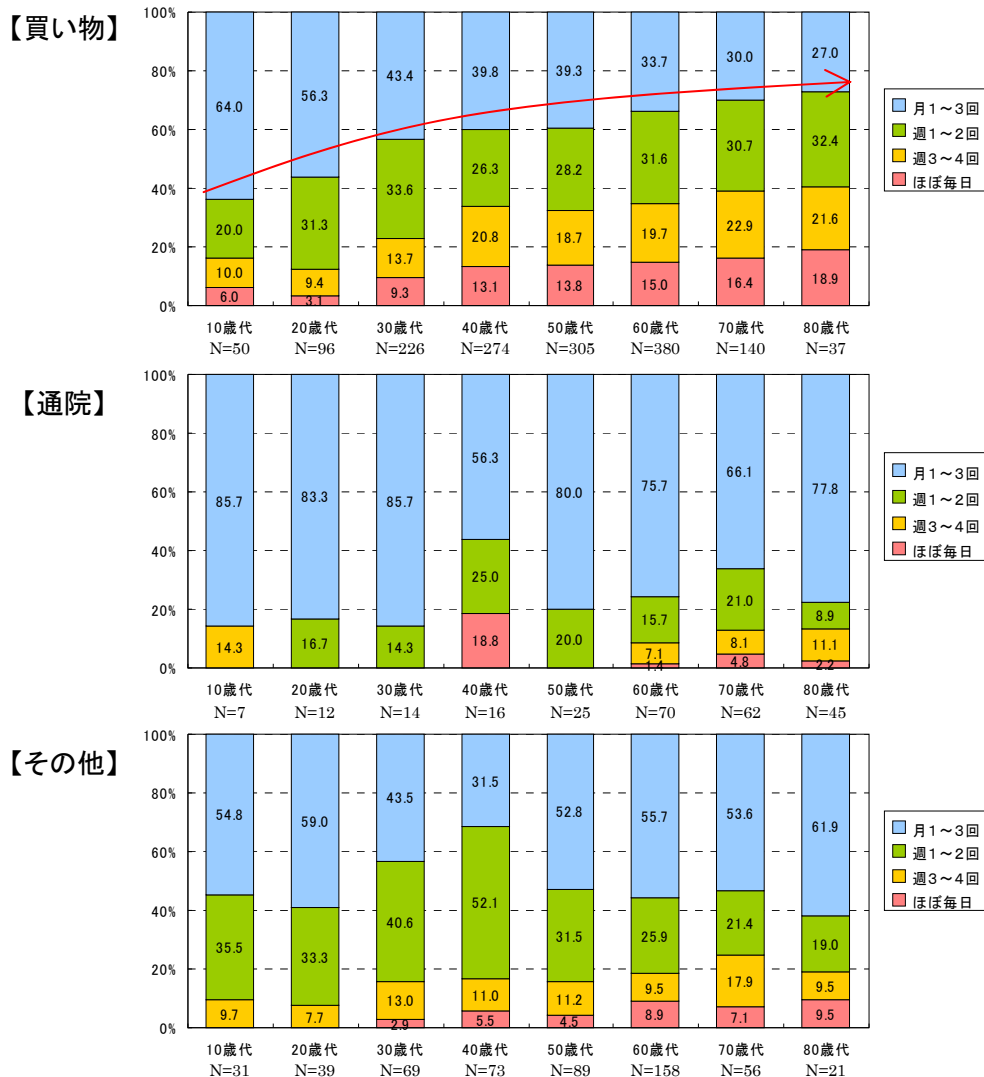


図 年代別目的別の外出頻度



問3 (ア)ご自宅から 問1 でお答えの外出先①～③までに利用する交通手段は何ですか？(イ)また、鉄道を利用する方は乗り降りする駅名もお答えください。

- 高齢になるほど「自動車」利用が減少し、「自動車送迎」、「タクシー」、「バス・鉄道」利用が高くなる傾向にあり、
- 80歳代では、町内移動の約30%が「自動車送迎」及び「タクシー」利用である。

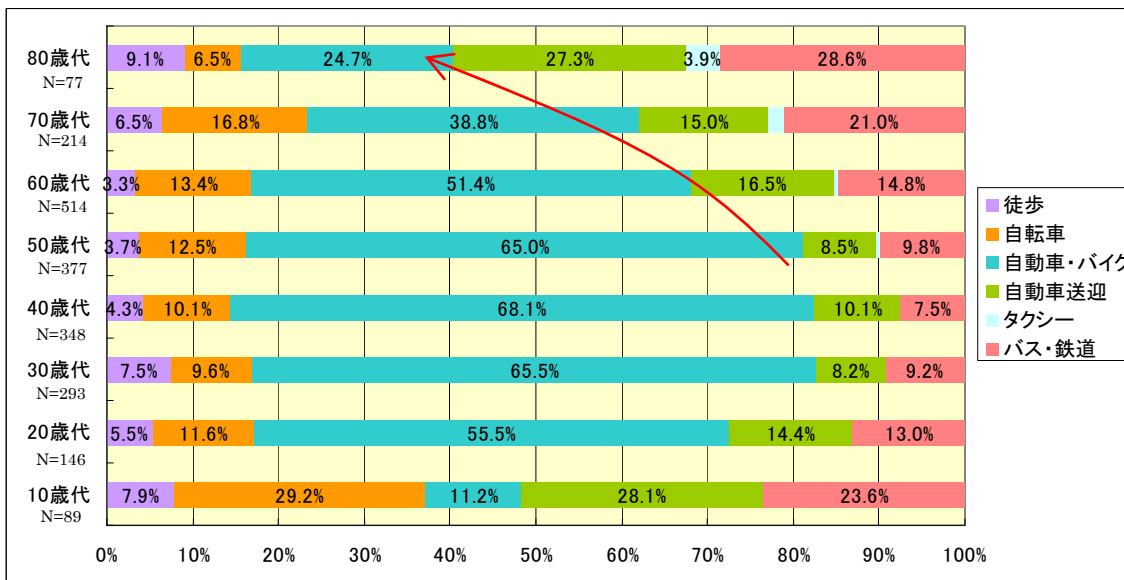


図 年代別にみた田原本町内での移動手段（通勤・通学目的以外）

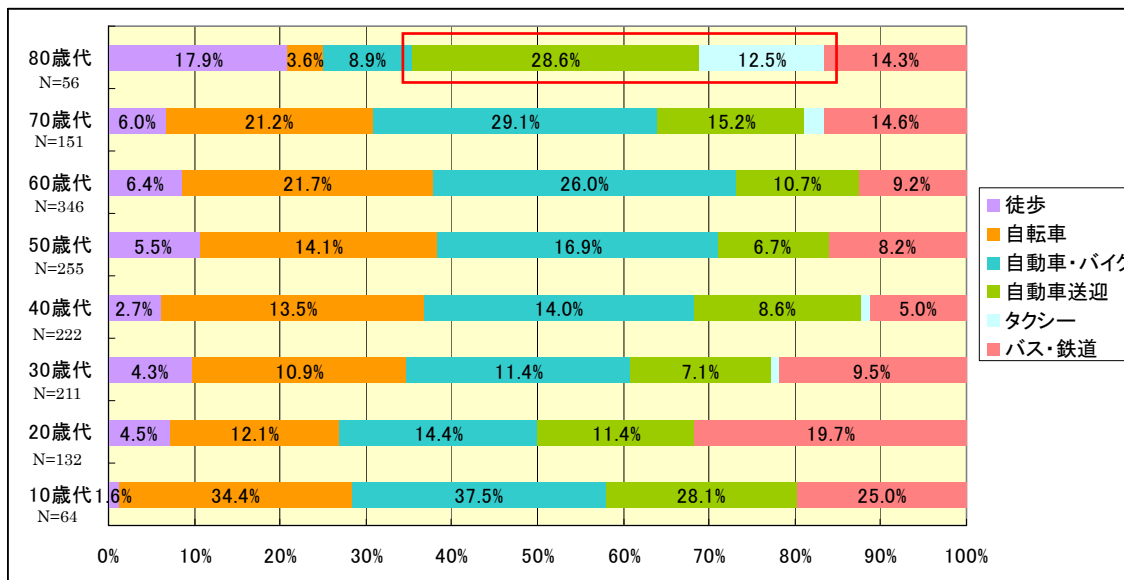


図 年齢別にみた田原本町外への移動手段（通勤・通学目的以外）

- 通院目的での移動者数は60歳以上になると大幅に増加する。
- 通院目的の年代別の交通手段を見ると、60歳以上では自動車送迎やタクシーを利用する人が多くなる。80歳代では、その割合は半数以上（60人中31人）を占めている。
- 交通手段別の外出頻度をみると、自動車送迎やタクシーを伴う移動において、外出頻度が低くなっている。

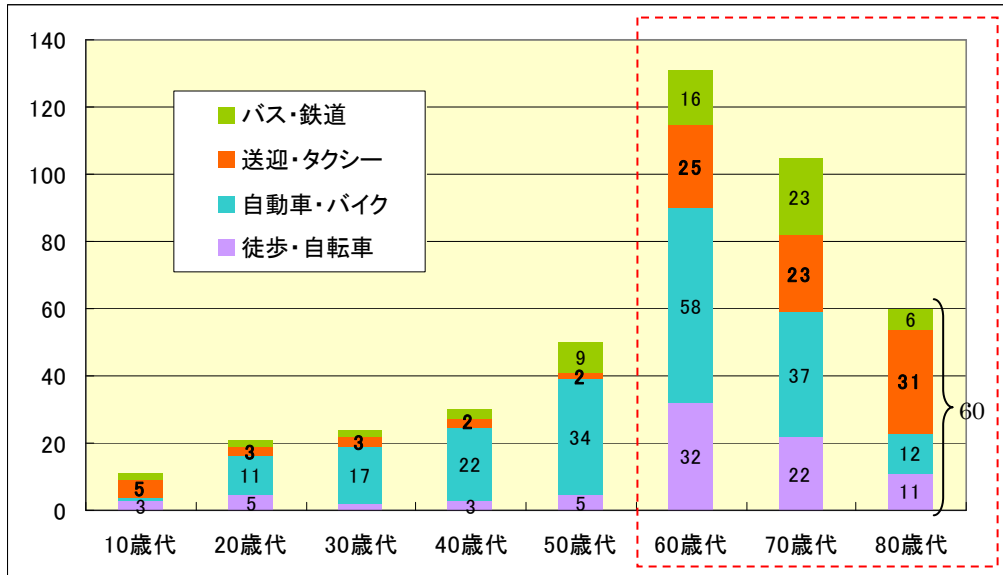


図 通院目的の移動手段

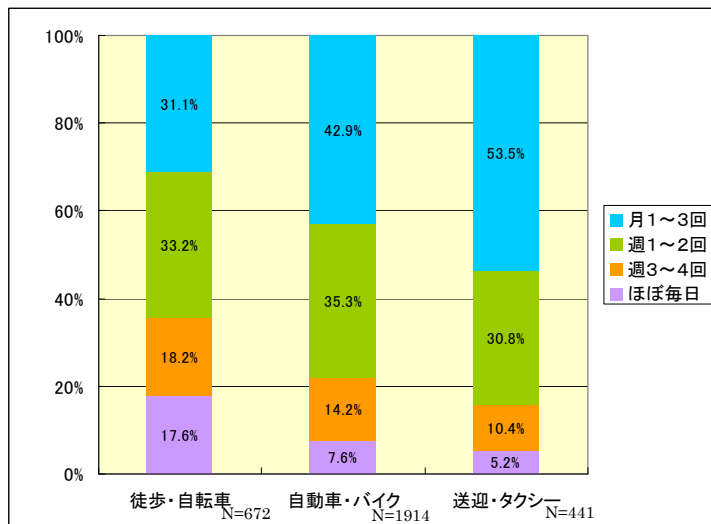


図 交通手段別の外出頻度

- 60歳以上の自動車送迎やタクシー利用者の外出先を見ると、田原本町内ではスーパーおくやまが圧倒的に多い。その他は医療施設が目立つ。
- 田原本町外では橿原市への送迎が最も多く、次いで桜井市や天理市の順となっている。

表 60歳以上の自動車送迎及びタクシー利用による目的地

【田原本町内】		【田原本町外】	
場所	件数	場所	件数
スーパーおくやま	54	橿原市	41
スーパー万代	12	桜井市	13
青垣生涯学習センター	8	イオンモール橿原アルル(橿原市)	11
国保中央病院	4	ジャスコ桜井店(桜井市)	10
東洋薬局	4	天理市	9
オークワ	4	天理よろづ相談所病院(天理市)	8
グランドストア田原本	4	奈良市	8
根元整形外科眼科医院	3	ジャスコ天理店(天理市)	7
忠岡医院	3	近鉄百貨店橿原店(橿原市)	7
ファッションセンターしまむら	3	大阪市	6
あまい医院	2	県立医科大学附属病院(橿原市)	3
リハビリセンター	2	平成記念病院(橿原市)	3
森田整形外科医院	2	ジャスコ	2
水野医院	2	大和高田市	2
ひのうえ鍼灸接骨院	2	東大阪市	2
コンビニ	2	アピタ(橿原市)	1
K'Sデンキ	2	アペイル桜井店(桜井市)	1
JA	1	エコールマミ(広陵町)	1
ゴルフ練習場	1	エバーグリーン(桜井市)	1
デイホームたんぼぼ	1	スーパーおくやま橿原店(橿原市)	1
パン屋さんKAWATA	1	ピアノ(三宅町)	1
ふれあいセンター	1	ホームセンター	1
銀行	1	ホームセンター コーナン(橿原市)	1
市田塾	1	阿倍文殊院(桜井市)	1
松本眼科	1	宇陀市	1
池田医院	1	下市温泉(吉野郡下市町)	1
田原本町三笠	1	橿原市朝起き会八木支舎	1
田原本町内	1	刈谷市	1
奈良中央信用金庫	1	眼科(橿原市)	1
万代百貨店	1	京田辺市	1
和久田耳鼻咽喉科	1	京都市	1
アサヒ書房	1	極楽の湯奈良店(奈良市)	1
カツラギ種苗	1	近鉄百貨店	1
コーナン	1	近鉄文化センター(奈良市)	1
小阪内科小児科医院	1	結崎	1
坂根医院	1	五條市	1
塾	1	御所市	1
スーパー	1	広陵町	1
たじまや	1	高の原	1
田原本幼稚園	1	高田総合体育館	1
通院	1	実家(大阪府交野市)	1
殿村医院	1	新町	1
バースディ	1	杉の湯(吉野郡)	1
歯医者	1	西大寺	1
初田歯科	1	泉佐野市	1
宮脇書店	1	船つき場(魚釣り) 泉佐野市	1
ヤマトー	1	大宮眼科(奈良市)	1
ユニクロ	1	大和郡山市	1
老人福祉センター	1	辻本内科メンタルクリニック(橿原市)	1
小島内科小児科	1	天理市立病院(天理市)	1
総計	146	島根県隠岐	1
		奈良ファミリー(奈良市)	1
		奈良県立ろう学校(大和郡山市)	1
		奈良社会保険病院(大和郡山市)	1
		奈良東病院(天理市)	1
		難波マルイ(大阪市)	1
		名張市	1
		明日香村	1
		総計	175

問4 お出かけ先までの移動について、何か問題点がございましたらお書きください

- 道路幅員が狭いことから危険性や道路混雑を指摘する意見が目立つ。
- 駅周辺や特定施設周辺部の道路混雑を指摘する意見も多い。
- 将来、自動車が運転できなくなったときの交通手段を心配する意見も多く寄せられた。

<主な意見>

- ・ 自宅から県道、国道へ出るまでの道路が狭い。踏切が狭く歩行者が危ない。
- ・ 家から主要道路に出る道が異様に狭い。県外から遊びに来た友達や会社の人が口を揃えた様に道が狭いと言い、自分のまわりでは奈良の田原本は道が狭くて不便であると有名になっている。
- ・ スーパーおくやまは駐車場に入るための渋滞が曜日によっては激しい。自宅がスーパーおくやまの近くなので出かける時など渋滞していると困る。
- ・ 田原本駅前付近の道の狭さが危険。
- ・ 自宅から田原本に出かけるのに交通の便がない（タクシーに乗るしかない）
- ・ 駅まで家族に送ってもらうが、82歳になるので心配。また、タクシーを利用するが料金がかかるのでとてももったいない様に思うので出たくても控えるようになってしまう。
- ・ 自転車で移動する時は、歩道を走るのも車道を走るのも危険が伴う。
- ・ 今のところ自分で運転できるが運悪く出来なくなったら、タクシーに頼らなくてはと思っているのでタクシー会社を増やしてほしい。また、バスを利用したいので環境整備に向けて検討して頂きたいと存じます。
- ・ 今は車を運転出来るが、年をとって運転できなくなった場合の交通手段が心配。自宅からはどこに行くのも車でしか行けないので。
- ・ 天理市に向かう時、すれ違うのにせまい道路がいくつかある。近鉄を利用したいが駅まで徒歩では時間がかかる。車だと駐車場がない。
- ・ 近鉄田原本駅周辺が危険である。駅前整備完成が待ち遠しい。
- ・ 田原本駅を利用したいのですが、駅までの交通機関がない。また、自転車で駅に行く場合の自転車置き場がない。車で送迎してもらうにも駅前がせまい。
- ・ 雨の日等、駅前がせまく送迎の車やタクシーで混雑し、傘などで前が遮られて危険である（近鉄田原本駅前）。高齢者、幼児等は付き添いがなければ危険である。

等

質問C：田原本町の今後の公共交通の方向性についておたずねします。

問1 こうした田原本町の状況を踏まえて、田原本町にとって必要な公共交通サービスは、以下のうちどれであるとお考えですか。

- 「福祉・医療施設を中心とした運行サービス」が必要と考えている方が最も多く 21.8%となっている。次いで「町の中心部を往復するサービス」の 18.9%となっている。
- 逆に最も少なかったのは「町内をきめ細かく運行する循環型サービス」の 10.4%である。
- 鉄道駅から離れた地域では、「町の中心部を往復するサービス」が 22.3%と最も支持がある。
- 「それ以外のサービス」に関する意見は、単独ではなく複数のサービスが必要との声が大半であった。

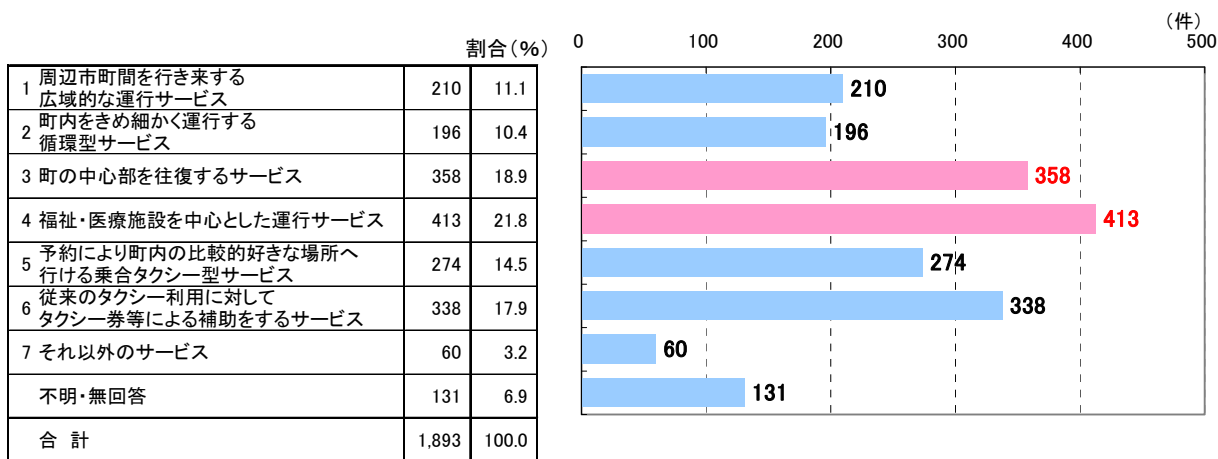


図 田原本町にとって必要な公共交通サービス

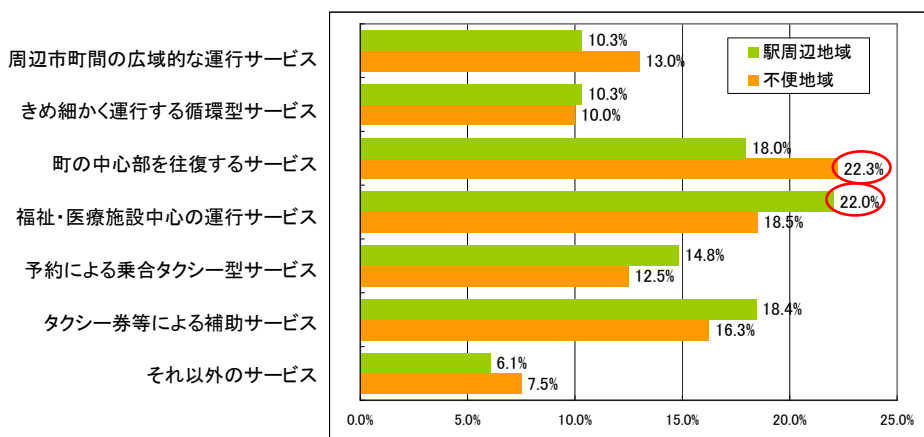


図 地域別にみた田原本町にとって必要な公共交通サービス

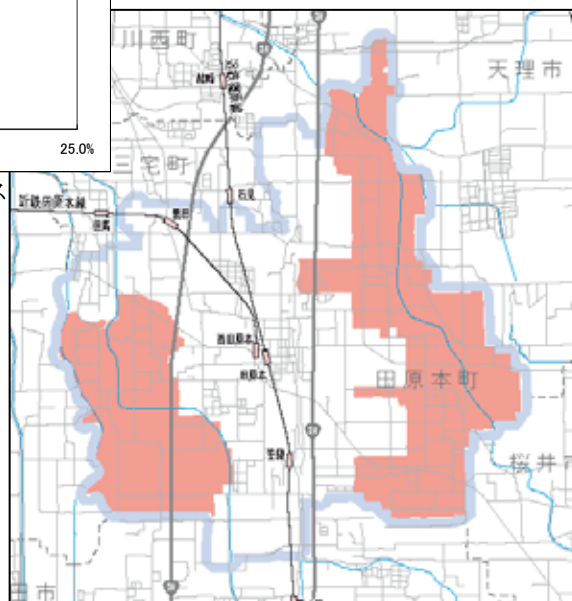


図 地域区分 (ハッチ掛けが公共交通不便地域)

- 「福祉・医療施設を中心とした運行サービス」と「町の中心部を往復するサービス」については、いずれの年代からも支持を得ている。
- 「タクシーに対する補助」については年代が上がるほど求める声が強い。現在タクシーを利用されている方が多いことやドア to ドアサービスに対するニーズの現れであると考えられる。

質問ご自身について ②年齢  
 × 質問C 田原本町の公共交通について  
 問1 田原本町に必要な公共交通サービス(複数回答)

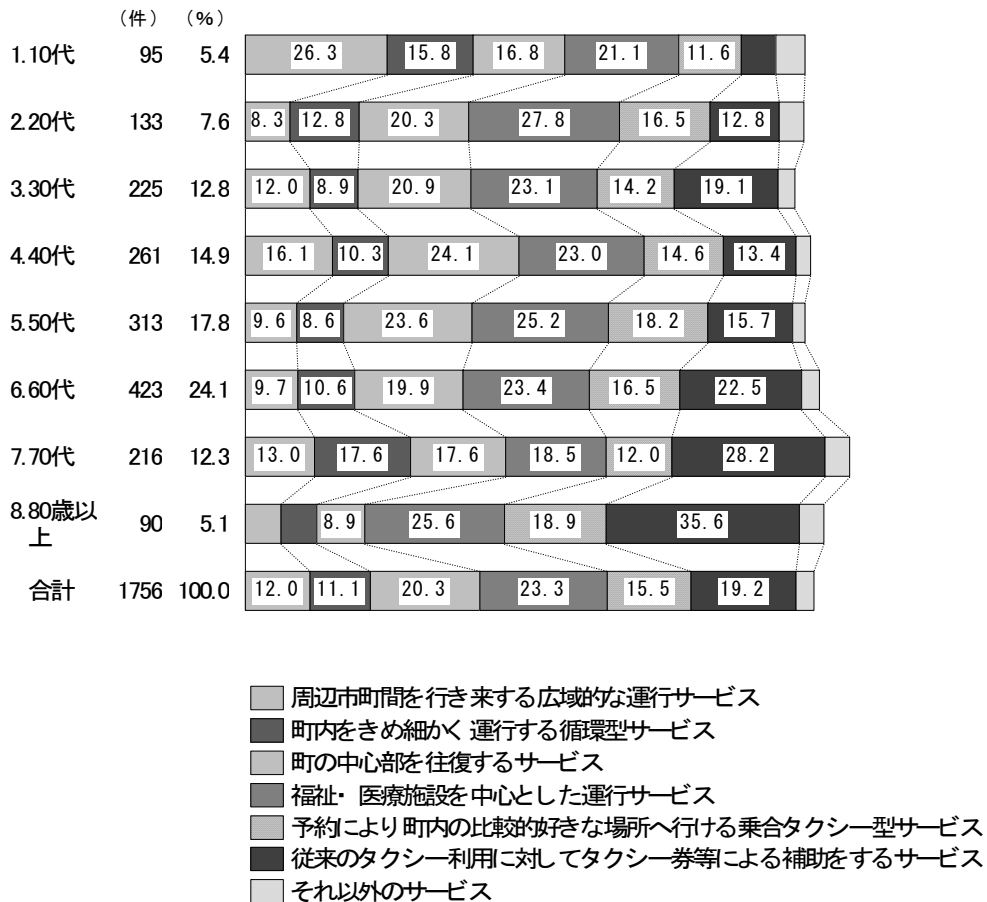


図 年代別にみた田原本町にとって必要な公共交通サービス

問2 問1でお答えの公共交通サービスに対して、あなた自身は利用すると思いますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

- 「積極的に利用」との回答が1割を占めている。年代別では年齢が上がるにつれ、利用意向が高くなる傾向にある。

質問C 田原本町の公共交通について 問2 問1で答えた公共交通サービスの利用

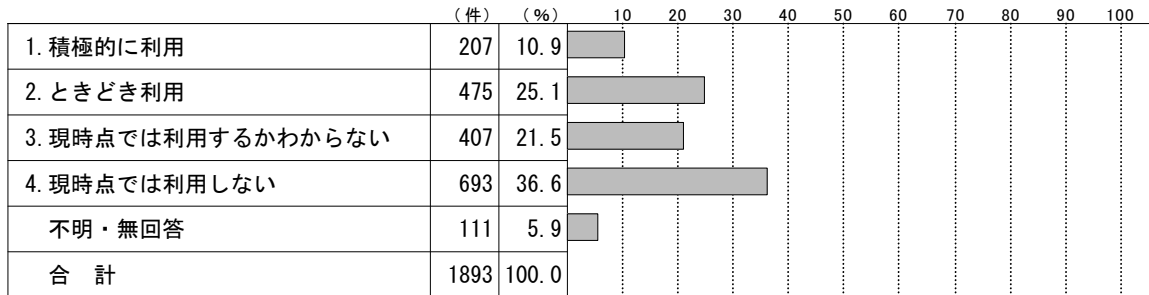


図 新たな公共交通サービスの利用意向

質問E ご自身について ②年齢  
 × 質問C 田原本町の公共交通について  
 問2 問1で答えた公共交通サービスの利用

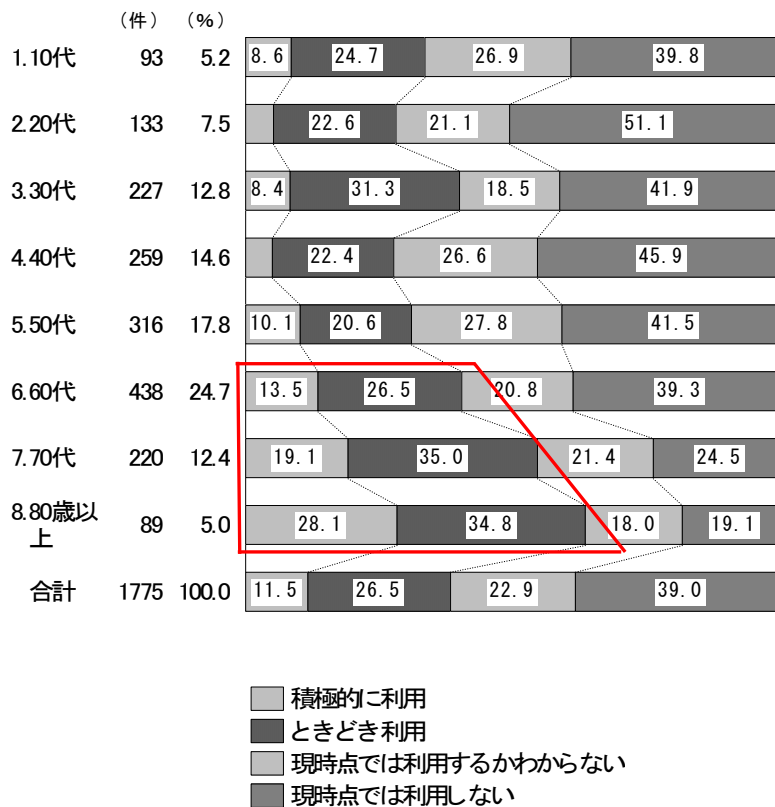


図 年代別の新たな公共交通サービスの利用意向

- 施策別に利用意向を見ると、「積極的に利用」「ときどき利用」と言った利用に前向きな人数が最も多いのは「町の中心部を往復するサービス」である。「福祉・医療施設を中心とした運行サービス」については、「現時点では利用しない」「現時点では利用するかどうか分からない」と言った回答が多く、同居人や町の将来を思えば必要との意見であろう。
- これを地域別に見ると、公共交通不便地域では「町の中心部を往復するサービス」に対する支持がより顕著に表れている。

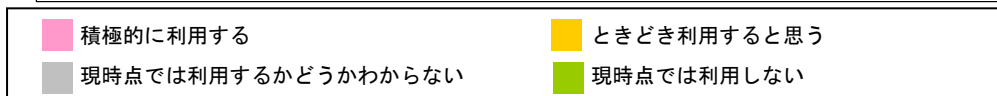
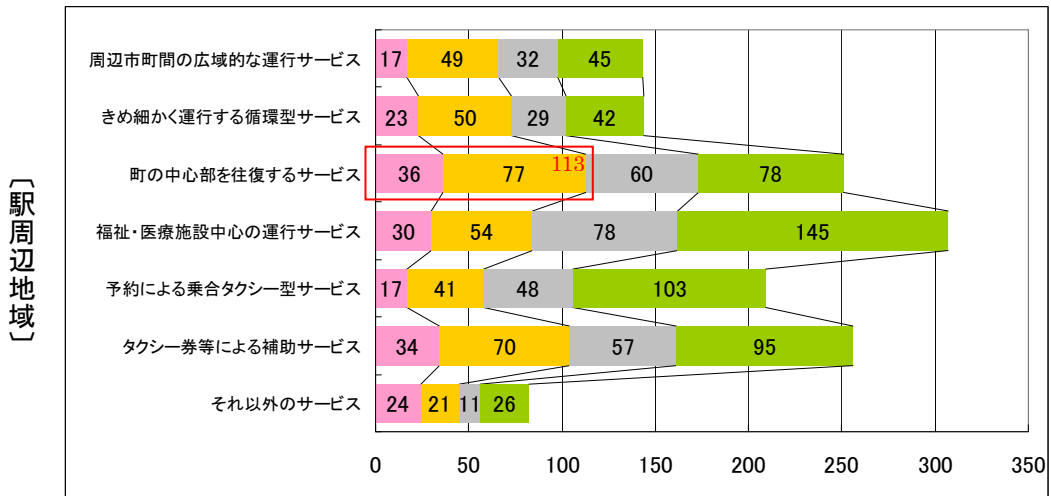
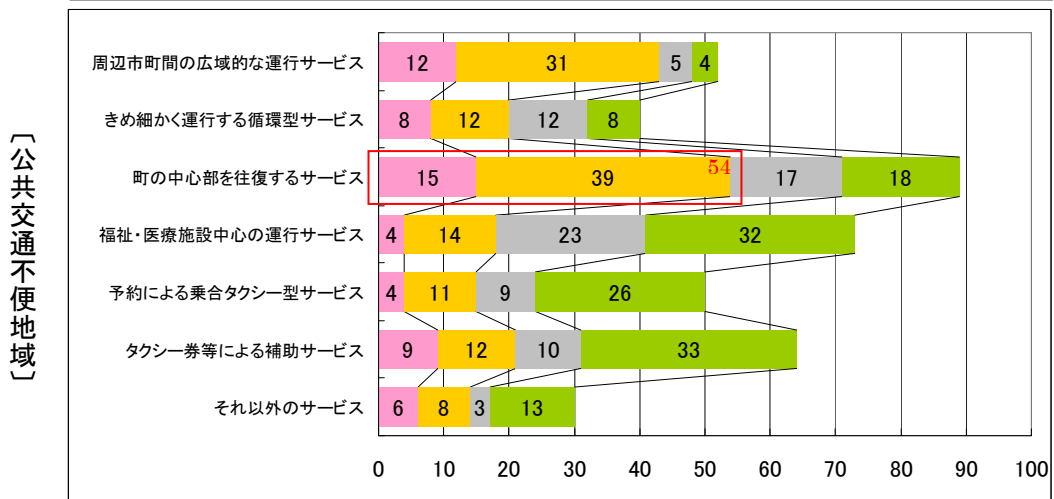
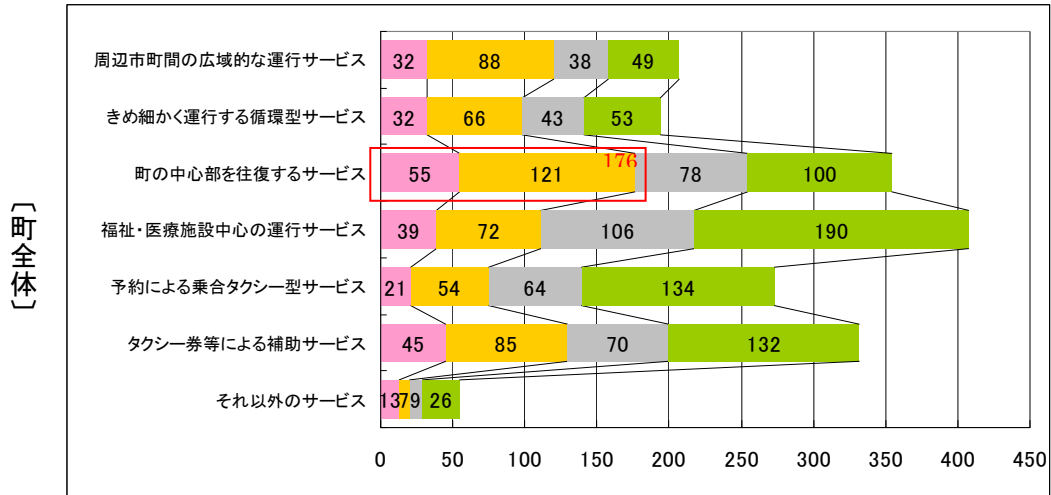


図 地域別の新たな公共交通サービスの利用意向



問3 問1でお答えの公共交通サービスは、利用者の運賃による負担だけで財源を確保することが困難なため、税金による地域みんなの負担が必要となります。また、財源によって公共交通の運行本数などのサービス水準も変化することになります。以上を踏まえて、税金による負担割合として、以下のうちどれが良いとお考えですか。

- 税金、利用者が各々50%ずつ負担するとの意見が38.2%と最も多い。

質問C 田原本町の公共交通について 問3 問1で答えた公共交通サービスの税負担率

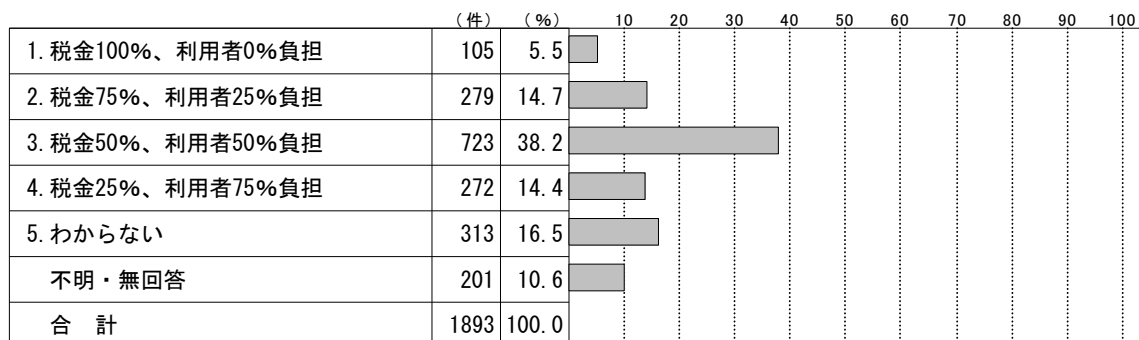


図 新たな公共交通サービスの税負担率

質問Eご自身について ②年齢  
 × 質問C 田原本町の公共交通について  
 問3 問1で答えた公共交通サービスの税負担率

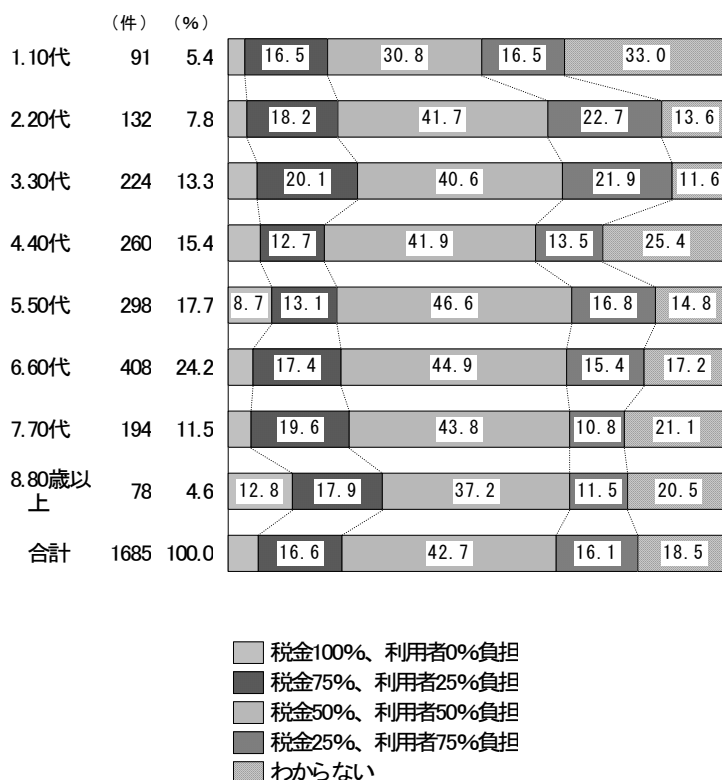


図 年代別の新たな公共交通サービスの税負担率

問4 問1でお答えの公共交通サービスにおいて、どのような項目が重要だと思いますか。とても重要だと思う項目に○をつけて、利用するにあたっての最低限の条件をお書きください。

- 「料金」が42.8%と最も多く、次いで「運行時間帯」「運行経路・目的地」の順となっている。
- 地域別に見ると、駅周辺地域では「料金」が22.1%と突出している。公共交通不便地域も同様であるが駅周辺地域ほど高くない。

質問C 田原本町の公共交通について 問4 問1で答えた公共交通サービスの重要項目（複数回答）

	(件)	(%)	
1. 運行時間帯	647	34.2	
2. ダイヤ	281	14.8	
3. 運行経路・目的地	592	31.3	
4. 料金	810	42.8	
5. 乗車時間	314	16.6	
6. バス停までの距離	520	27.5	
7. バス停から目的地までの距離	352	18.6	
8. 乗りやすさ、使いやすさ	382	20.2	
不明・無回答	405	21.4	
合計	1893	100.0	

図 公共交通サービスの重要項目

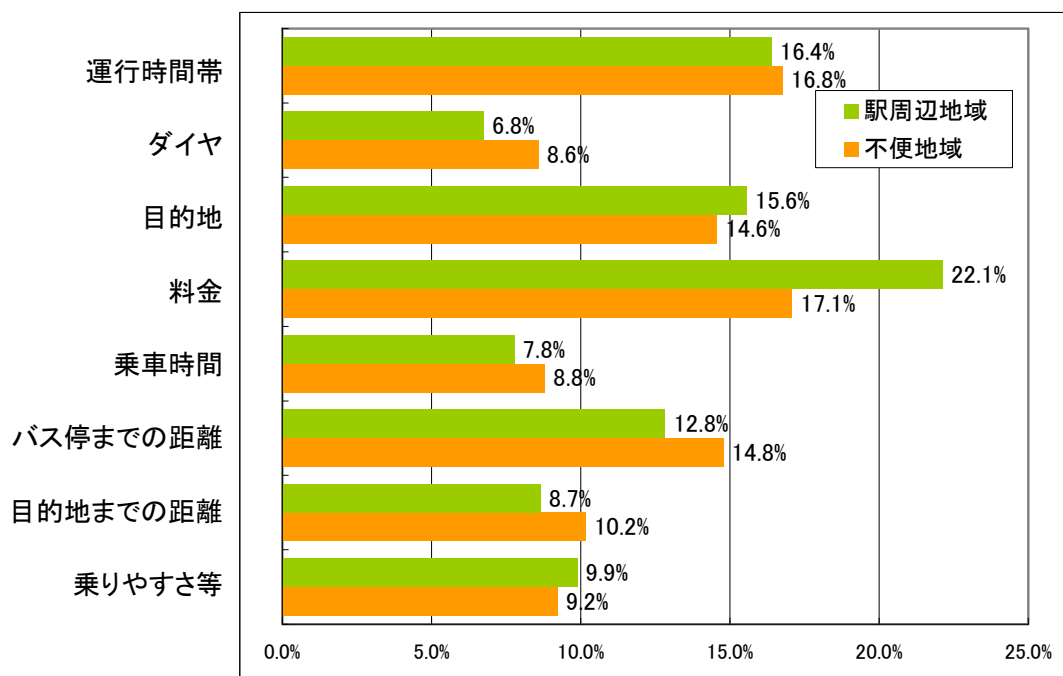
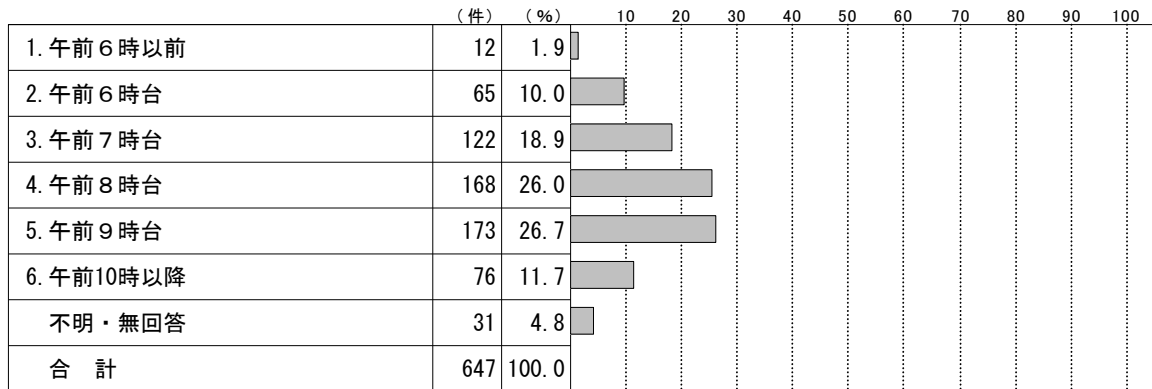


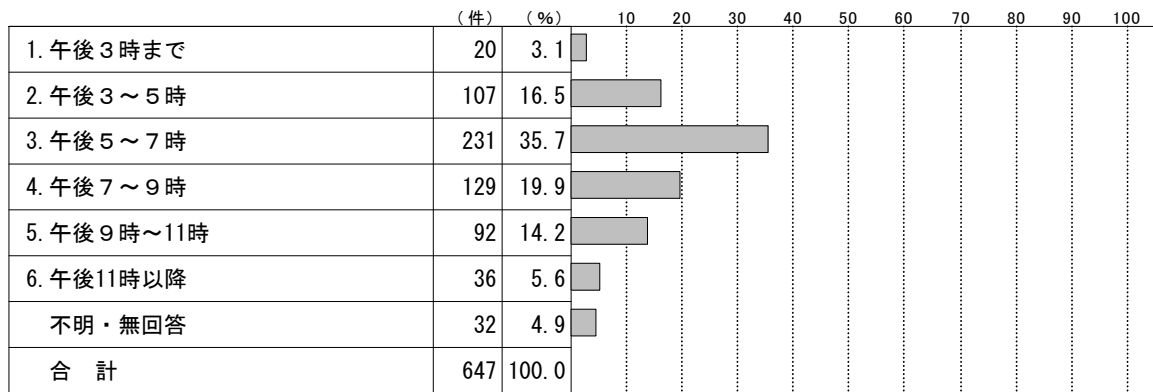
図 地域別にみた公共交通サービスの重要項目

【最低限の条件：運行時間】

質問C 田原本町の公共交通について 問4 問1で答えた公共交通サービスの重要項目（運行時間帯/始発時間）

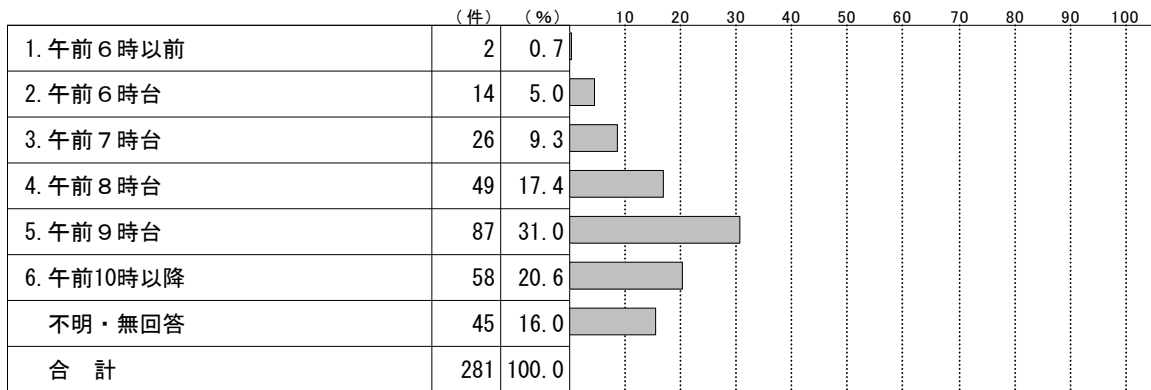


質問C 田原本町の公共交通について 問4 問1で答えた公共交通サービスの重要項目（運行時間帯/終発時間）



【最低限の条件：ダイヤ】

質問C 田原本町の公共交通について 問4 問1で答えた公共交通サービスの重要項目（ダイヤ/午前便）



質問C 田原本町の公共交通について 問4 問1で答えた公共交通サービスの重要項目（ダイヤ/午後便）

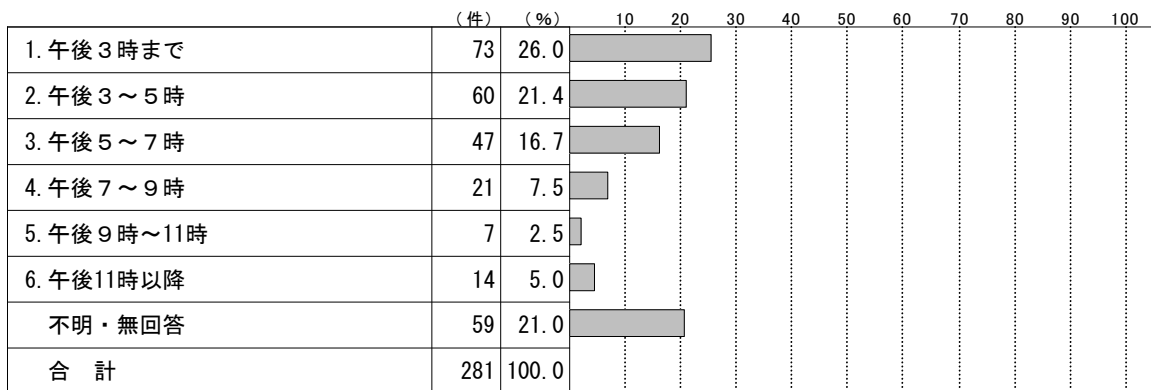


図 重要項目別の条件

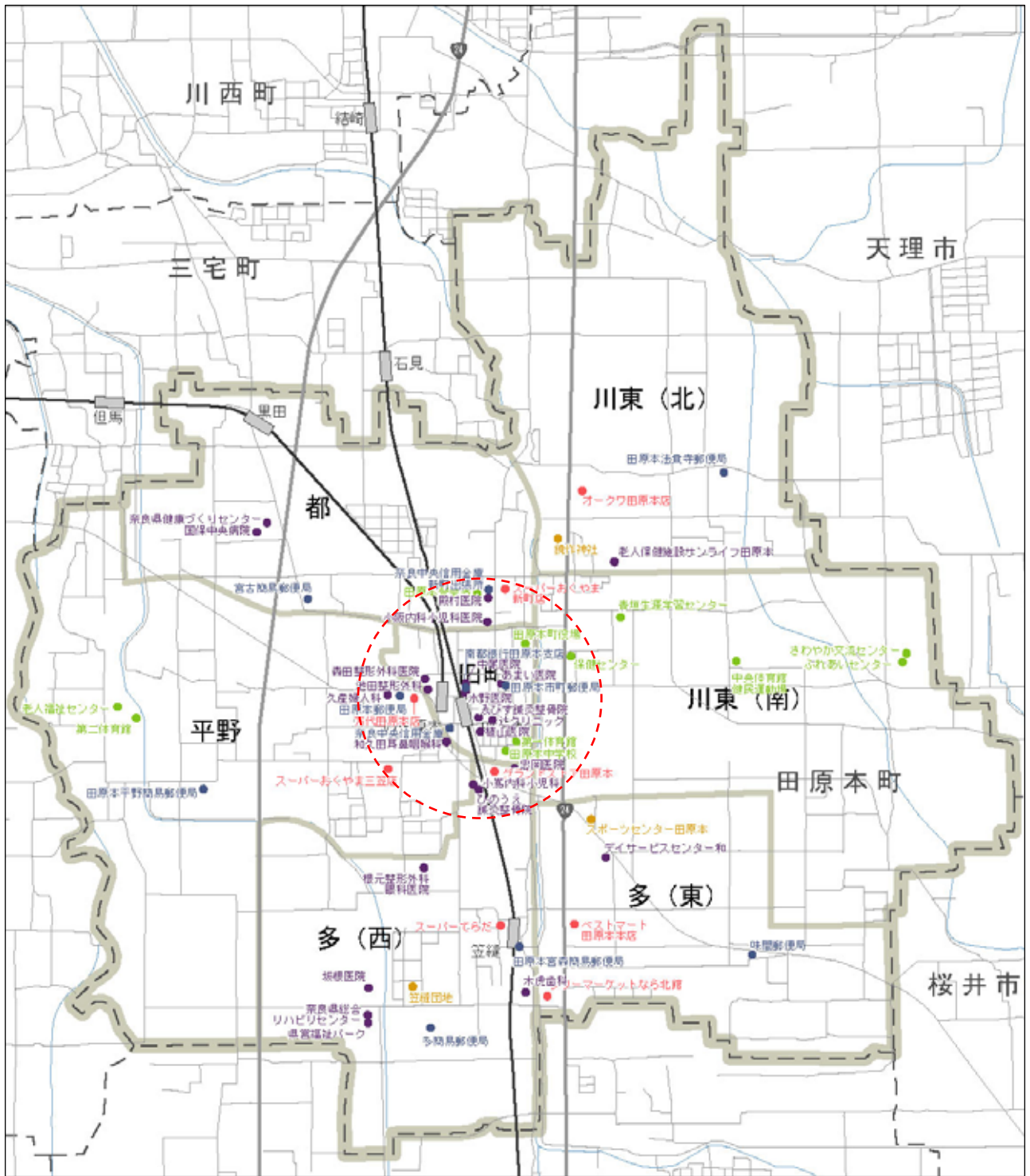
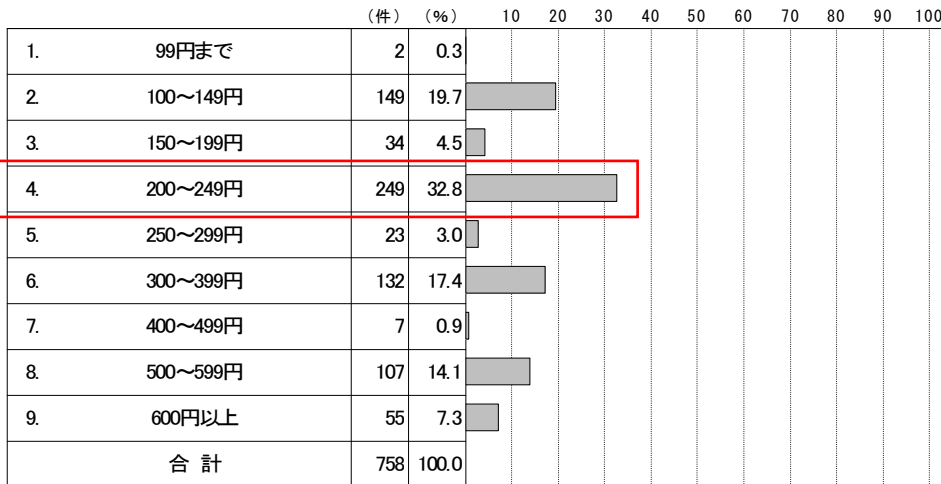


図 重要項目別の条件

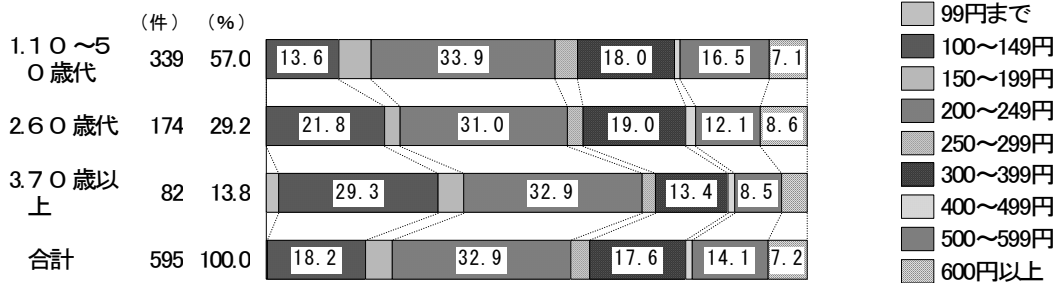
【最低限の条件：料金】

質問C 田原本町の公共交通について 問4 問1で答えた公共交通サービスの重要項目(料金)



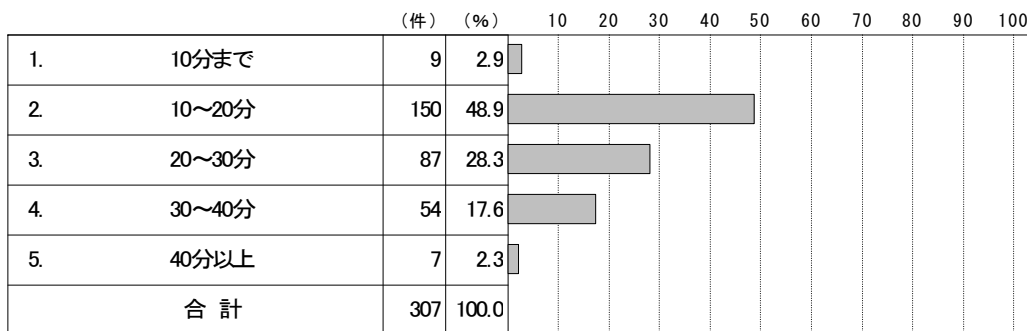
質問E ご自身について ②年齢

× 質問C 田原本町の公共交通について  
問4 問1で答えた公共交通サービスの重要項目(料金)



【最低限の条件：乗車時間】

質問C 田原本町の公共交通について 問4 問1で答えた公共交通サービスの重要項目(乗車時間)



質問E ご自身について ②年齢

× 質問C 田原本町の公共交通について  
問4 問1で答えた公共交通サービスの重要項目(乗車時間)

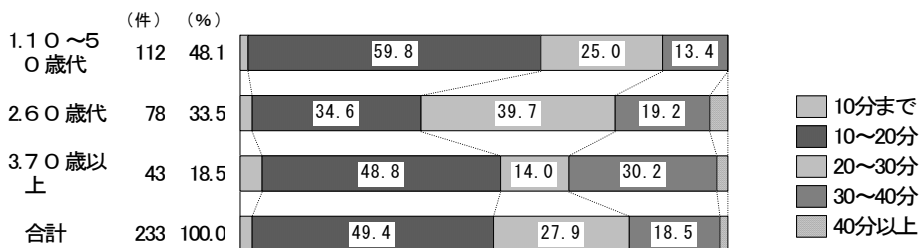
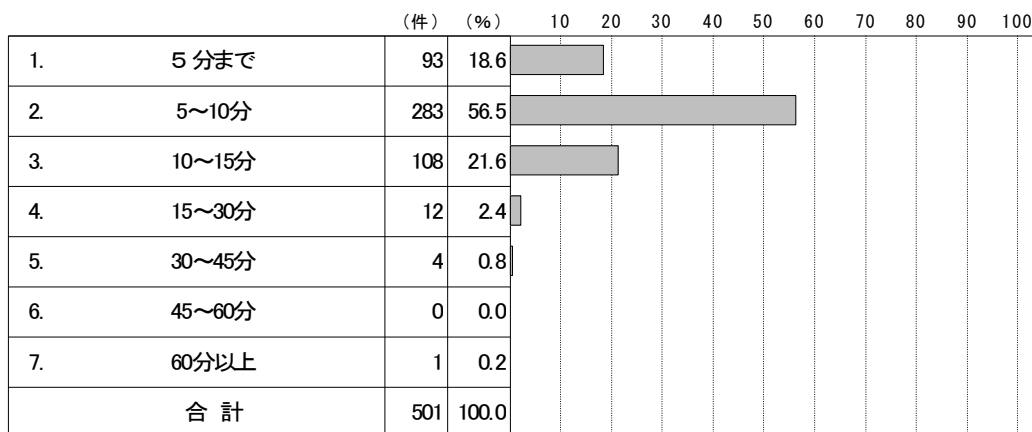


図 重要項目別の条件

【最低限の条件：バス停までの距離】

質問C 田原本町の公共交通について 問4 問1で答えた公共交通サービスの重要項目(バス停まで)



【最低限の条件：バス停から目的地までの距離】

質問C 田原本町の公共交通について 問4 問1で答えた公共交通サービスの重要項目(バス停から目的地まで)

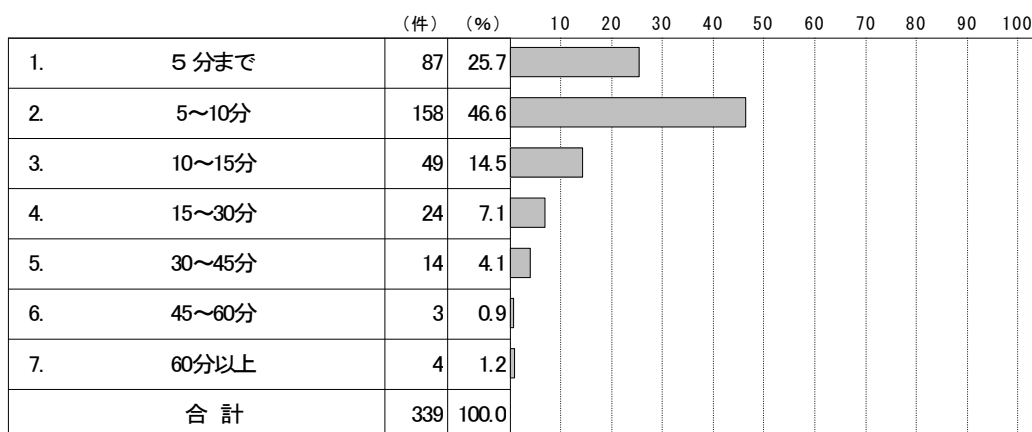


図 重要項目別の条件